

地域協働力が担うコミュニティの活性化

(組織名) 明用・三町免環境保全会 (市町村) 鴻巣市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
49.1 ha	23.7 ha	15.5 km	2.0 km	— km	— 箇所	15.1 km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 68人(農業者41人、非農業者27人)
- 主な構成団体 明用町内会、三町免町内会、明用長寿会、三町免長寿会
明用子ども会・育成会、明用万作保存会

3 地域の様子と取組内容

明用・三町免環境保全会は平成27年4月に設立し、鴻巣市の北部、荒川左岸に位置する水田農業地帯を活動区域としています。また同時に、この区域では農地中間管理事業による農用地(主に水田)の集積化も進められています。

本組織は、「地域の協働力」を高めることでコミュニティの活性化を図るとともに、農業者と農業者以外、子供からお年寄りまでの「人と人のつながり」を構築することを目的として取組を開始しました。

この地域協働により、農業用施設(農用地、水路、農道)の草刈りや泥上げなどを基本的な重点活動として実施し、さらに点検・機能診断に基づいて農業用施設の補修及び保全管理も行っています。また、農用地を活用した景観形成活動としてコスモスやポピーの植栽も行っています。

地域コミュニティの活性化を図る活動としては、子ども会と連携した「生き物調査」や「ジャガイモ掘りと試食会」、地元の小学校と連携した「田植えの体験」、「サツマイモの苗植えと芋掘りの体験」、「稲刈りの体験」を行っています。その他、夏と秋にみょうさん祭りを開催することで多くの地域住民との交流を図っています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設の点検・機能診断	・年度活動計画の策定 ・農村環境保全の計画策定 ・増進活動の計画策定	・草刈り、泥上げ、清掃 ・農道・用排水路の補修 ・景観形成・増進活動 ・啓発・普及活動



用水路の泥上げ・清掃



水路の草刈り



農道・用水路の補修



植栽による景観形成（長寿会との連携）



田植えの体験（学校教育との連携）



生き物調査（子ども会との連携）

5 取組の効果及び今後の展望等

明用・三町免環境保全会の活動を通して、地域住民が一体となった地域協働による農業用施設の保全が図られています。地域の農業資源を守り次世代に引き継ぐために、今後もこの活動を継続して充実させていきます。

また、町内会や子ども会などと連携した植栽活動、みょうさん祭り、生き物調査などの実施を継続するとともに学校教育との連携をさらに充実させることで、より一層の地域コミュニティの活性化を図っていきたいと考えています。

蓮を再生し、綺麗な水環境を子ども達に

(組織名) 伊佐沼周辺田園環境保全組合 (市町村) 川越市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
57.0 ha	6.3 ha	4.3 km	3.9 km	1.8 km	1 箇所	— km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 630人（農業者110人、非農業者520人）
- 主な構成団体 農事組合法人沼端、荒川右岸用排水土地改良区
伊佐沼の蓮を咲かそう会、伊佐沼自治会、沼端自治会
二ノ関自治会、鴨田第三自治会

3 地域の様子と取組内容

本地域は、川越市の中心市街地の東側に隣接する水田地帯です。

組織名となっている伊佐沼は農業用施設としてだけではなく、自然環境としても重要な資源であり、沼を中心とした水質浄化対策、環境対策に地域住民が一体となって取り組んでいます。

農地維持活動としては、水路の草刈りを年3回、ため池の草刈りを年2回行っています。

資源向上活動として、沼に自生していたハス・ヨシ・マコモの再生のための移植、沼に生息していたマシジミの養殖、一部農地を利用したヒマワリやレンゲの栽培などを行っており、各活動は地域の交流の場ともなっています。

また、地元の小学校と連携した稲の栽培体験、ハスの栽培教室、生き物調査なども実施しており、地域の子供達の環境教育にも貢献しています。

施設の長寿命化のための活動としては、素掘り水路からコンクリート水路への更新に取り組んでいます。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> ・農用地・水路・ため池の点検、機能診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検、機能診断結果を踏まえた活動計画策定 ・地域住民等との交流活動（農業まつりに参加し活動紹介・参加者募集） ・学校教育等との連携（水稻・ハス栽培体験、生き物調査） 	<ul style="list-style-type: none"> ・畦畔・農用地法面・水路・ため池の草刈り ・水路の泥上げ ・水質保全を考慮した施設の適正管理（ため池内ハスの移植） ・農用地等を活用した景観形成活動（ヒマワリ・レンゲ栽培） ・施設等の定期的な巡回点検・清掃



水路の草刈り



水路の泥上げ



水稻栽培体験



施設等の定期的な巡回点検・清掃

5 取組の効果及び今後の展望等

伊佐沼は農業用用水のための施設として重要であり、本組織の活動は、そのための適正な管理に寄与しています。

また、毎年、伊佐沼周辺の清掃やハスの管理、マシジミの養殖等、美化活動や環境保全に取り組んだことにより、ハスの開花時期には多くの方が観賞に訪れ、本地区の見どころとなっています。

農村環境保全活動として、地元の小学校と連携し、水稻栽培体験、ハスの栽培教室、生き物調査等を実施しており、環境に関心を持ってもらう良い機会となっています。

今後も活動を継続し、地域の方々の理解がより深まるよう交流などの機会を持ち、農村環境の保全・向上に努めていきたいです。

谷津沼を中心とした共同活動

(組織名) 第4ポンプ場多面的機能組合 (市町村) 小川町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
47.0 ha	2.0 ha	2.1 km	7.7 km	15.8 km	18 箇所	7.0 km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 193人 (農業者173人、非農業者20人)
- 主な構成団体 第4ポンプ水利組合、下横田養魚組合、愛光会

3 地域の様子と取組内容

本地域は、小川町の北東部に位置する優良な水田地帯です。当該地域は、地形的な理由から河川から水を引くことができないことに加え、地盤が岩盤層のため地下水を利用することもできません。

このため、先人たちの知恵によりこの地域の谷津地形を利用し、谷の最奥に堤を築いて谷津沼を造りその下流に田んぼを切り開き谷津沼農法を核として農業を行ってきましたが、昨今の農業者の高齢化や後継者不足などの問題もあり農地周りの草刈や水路等の維持管理が難しくなっているのが現状です。

当活動組織は、平成27年度から活動に取り組み、多面的機能支援事業の農地維持活動及び資源向上活動(共同活動・長寿命化)を実施しております。

資源向上活動では、農地周りの共同活動の強化に力を入れており、谷津沼脇から下流に広がる斜面の雑木林の伐採・下草刈りを行い適正に管理し、農地周辺の保水力の向上を図っています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設の点検・機能診断	・年度活動計画の策定 ・組合通信の作成	・水路・農道・ため池の草刈 ・水路の泥上げ ・農地周りの共同活動 ・水路・ため池の補修



水路の泥上げ



ため池の草刈り



農地の草刈り



斜面林の伐採



排水路修繕



ため池かいぼり／取水施設修繕

5 取組の効果及び今後の展望等

活動を通じて、農業者・地域住民の地域資源の保全管理についての意識の向上に大いにつながっています。

今後も農村環境保全活動を通じて地域住民と交流し、地域で谷津沼を中心とした農村環境を保全し、この地域特有の谷津沼農業を未来に受け継いでいきたいです。

地域で守る美しい農村環境

(組織名) 朝日環境保全組合 (市町村) 皆野町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
— ha	2.4 ha	— km	— km	— km	— 箇所	1.5 km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 51人 (農業者10人、非農業者41人)
- 主な構成団体 野巻地区 (自治会)、子ども会、老人クラブ

3 地域の様子と取組内容

本地区は皆野町の南西部、破風山のふもとに位置する中間農業地域です。

農業従事者の高齢化や減少に伴い、農地・農業用施設の維持管理の低下が進行しつつあったことから、遊休農地を減少させるため花を利用した地域の保全活動を実施しています。

また、農業施設の草刈りや泥上げ、清掃及び点検・機能診断も行い、細やかな保全活動も行っていきます。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・点検及び機能診断	・年度活動計画の策定	・草刈り、泥上げ、清掃 ・農用地を活用した花の植栽 (景観形成活動)



除草作業



側溝の泥上げ



花の定植作業



清掃作業

5 取組の効果及び今後の展望等

本地区では、農地・農業用施設の点検や、農道の草刈り、清掃作業、側溝の泥上げ等の実施、花の植栽活動を地域で行うことにより、地域の交流や美しい自然環境の保全が図られています。

今後も、活動を通じて綺麗で豊かな地域作りを目指していきたいと思います。

「美」しい「里」を守っていくために

～私たちにできること～

(組織名) 美里町環境保全広域協定 (市町村) 美里町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
509.5ha	236.9ha	— km	78.2km	61.5km	— 箇所	79.8km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 1,490人(農業者1,490人、非農業者0人)
- 主な構成団体 美里町用排水施設等管理組合、美兒沢用土地改良区

3 地域の様子と取組内容

本地域は、美里町の中央部から北部にかけて位置し、基盤整備事業により区画が整理された広大なほ場では、米麦を中心にきゅうり等の施設野菜や、なす等の露地野菜を組み合わせた農業経営が行われています。また、農地中間管理事業を導入して、担い手農家への農地の集積・集約化が進められており、米麦経営の大規模化が図られています。

従来は、農地や水路の管理については、農業者が共同で行っていましたが、高齢化や担い手不足により適切な維持管理が困難となり、その結果、排水路における草木の繁茂や土砂の堆積が地域の課題となっていました。

農地維持活動として農道・水路・農地の草刈り、排水路の泥上げを行っています。

また、施設の長寿命化の活動として、老朽化が進むパイプラインの点検が円滑にできるよう、令和元年度から制水弁等の更新を実施しています。

広域協定の利点を活用して実施地区の選定会議を行い、効果的に泥上げ等を行っています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・農用地・水路・農道の点検	・年度活動計画の策定	・草刈り、泥上げ ・パイプラインの更新



運営委員会



農道の草刈り



水路の草刈り



水路の泥上げ

5 取組の効果及び今後の展望等

取組の効果として、住民の農村環境保全に対する意識の向上、泥上げによる排水機能の向上が図られています。また、地区内で担い手への農地集積も進んでいます。

当面は、泥上げや草刈りにより農業水利施設の適正な維持管理を行うことで、安全な営農環境の整備や荒廃農地の解消など、地域課題の解消を図っていきます。

また、植栽による景観形成など、農村の魅力を十分に発揮できる活動を展開し、観光資源の可能性を見据えた取組を行っていきたいと考えています。

地域資源を守るふれあい活動

(組織名) 瀬山地域資源保全会 (市町村) 深谷市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
23.5 ha	19.8 ha	— km	— km	5.4 km	— 箇所	— km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 65人(農業者31人、非農業者34人)
- 主な構成団体 瀬山自治会役員、瀬山福寿会員、保全会構成員

3 地域の様子と取組内容

当地域は熊谷市に隣接し、県営ほ場整備事業「熊谷西部地区」内で旧国道140号及びバイパス内に位置しております。水田・畑作に適した農業振興地域であり、認定農業者と共に農地維持に努めておりますが、当地域も農業者の高齢化に伴い、後継者の育成が喫緊の課題となっております。

本事業では、農用地・用排水路等の草刈り、用排水路の泥上げ等の基礎的な保全活動の他、用排水路等の点検・機能診断に基づくU字溝・排水パイプの修繕、補修等の保全管理も行なっています。

遊休農地が発生しないよう役員が情報収集を行い、概ね月1回役員会議を開催し、当事者との意見交換も実施、荒廃農地の発生防止に努めています。

また、排水路法面の桜並木の管理や排水路法面を活用したパンジーの植栽も実施しており、昨年からは彼岸花の球根を植え地域住民とのコミュニティ強化を図っています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設の点検・機能診断	・年度活動計画の策定	・施設の草刈り、泥上げ ・施設の補修 ・施設の定期的な巡回点検・清掃 ・景観形成のための施設への植栽、桜並木の管理



水路の草刈り



水路の泥上げ



植栽活動



桜並木

5 取組の効果及び今後の展望等

本事業が定着してきたので、地域住民が一体となって農村環境保全への取組に理解を深めることができおり、担い手が優良農地を集積しやすい取組も進行してきています。

また、当地域は桜並木もあることから、非農業者が関心を持ち、参加者も増加してきているため、環境保全に貢献できています。

今後は更に地域住民と共に活動を実施することとし、農業の適切な保全管理を図って行く予定です。

なお、当地域には通年湧水場所があり、桜の鑑賞時には多数の地域外の人達から活用要望等がある事から、地域の環境維持活用の検討もしています。

景観形成事業と連携することで農地の維持を図る

(組織名) 佐波農地環境保全協議会 (市町村) 加須市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
8.5 ha	0.6 ha	2.0 km	— km	— km	— 箇所	2.1 km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 238人 (農業者177人、非農業者61人)
- 主な構成団体 佐波自治会、佐波農家組合(3組合)、加須市立わらべ保育園(株)米米倶楽部、加須市観光協会大利根支部

3 地域の様子と取組内容

本地区は加須市大利根地域の『道の駅童謡のふる里おおとね』と隣接した地域です。

農業者の高齢化等に伴い農業従事者が減少傾向にあることから、将来的な農道や水路等の維持管理が課題となっていました。そのため、平成19年度から本事業を導入し、地域共同による環境保全活動を実施しています。

活動内容としては、水路の泥上げのほか農道や水路等の雑草対策や補修を行うとともに、道の駅周辺の景観形成として休耕田を利用したホテイアオイの植付等、非農業者も含めた地域住民による共同活動を行っています。

さらに、地域の農業や環境保全への理解を深めることを目的に、地元保育園の園児たちによるホテイアオイの植付体験も行っています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設の点検・機能診断	・活動計画の策定	・水路、側溝の泥上げ ・農道、水路等の雑草対策 ・農道、水路の補修 ・ホテイアオイの植付 ・地元の園児たちによる植付体験



農道、水路の雑草対策



園児によるホテイアオイ植付①



園児によるホテイアオイ植付②



管理された花園

5 取組の効果及び今後の展望等

ホテイアオイの植付により、遊休農地の荒廃を防ぐとともに、良好な景観が形成されました。また、マスコミ等を通じたPR活動も積極的に行い、隣接する道の駅と連携することで、観光資源化に成功しました。

さらに、地元の保育園児たちが参加したことで、環境や農業について学ぶ機会を提供することができました。

今後も地域全体で農道、水路の維持管理や、景観形成活動を継続し農村環境の保全に努めていきます。

みんなで作る快適な地域づくり

(組織名) 二本木農地管理組合 (市町村) 杉戸町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
23.4ha	0.3ha	— km	— km	2.7km	— 箇所	— km

2 活動組織の構成員

○ 構成員の人数 58人 (農業者23人、非農業者14人、準組合員21人)

3 地域の様子と取組内容

当地区は、杉戸町の北部に位置する穀倉地帯であり、耕作者の高齢化・後継者不足の他に、農家と非農家の混在化により、コミュニティーの維持が難しくなっていました。

そこで、当事業を活用し、耕作放棄地の解消・排水路の維持管理・景観美化などを取り組み、住民同士の絆を深め、地区の活性化を図っています。

具体的には、排水路の維持管理 (陥没箇所への土入れ、危険箇所補修、除草等) 地域の景観美化 (子ども会も参加した花植え、空き缶等のゴミ拾い等) に取り組んでいます。

この活動は、二本木自治体、本島ひまわり子ども会、627自治会と協同で行っています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設の点検・機能診断	・年度活動計画の策定 ・地域住民との交流活動、学校教育、行政機関等との連携	・排水路の草刈り ・排水路の泥上げ ・排水路側壁のはらみ修正、目地詰め、破損施設の補修 ・農用地等を活用した景観形成



草刈り



泥上げ



排水路法面補修作業



植栽活動

5 取組の効果及び今後の展望等

活動4年目を迎え、年間の活動も定着しつつあります。

排水路法面の補修作業を梅雨や暑い時期ではなく、12月や1月に行うなど実践活動の実施時期を改善した結果、参加人数も増えました。

排水路法面整備や草刈りに参加が増えるなど、住民の積極的な活動参加が図られました。

また、地元子ども会による「花植え活動」には、その親の参加もあり、子どもを通じての交流も深まりました。

さらに地域内のゴミ拾いには、地域環境への意識が高まり、多くの住民が参加しました。

今後も計画に基づいて着実に実践活動を継続し、研修会や啓発活動にも力を入れ、農村環境を美しく整備し、快適な地域をつくります。